

FANUC Robot M-3*i*A

特 長

FANUC Robot M-3*i*Aは、大型高速搬送・組み立て用
パラレルリンクロボットです。

パラレルリンクロボットとしては類を見ない6軸タイプ
をラインナップし、物流・組み立てラインでの適用範囲
を拡大しました。

●用途に応じて3種類のタイプが選択可能です。

- FANUC Robot M-3*i*A/6S

先端に手首回転1軸を備えた合計4軸タイプです。
8kgの大きな可搬質量（オプション）にて、コンベヤ
で流れる複数の品物をまとめて、高速に整列・搬送
する作業に適しています。

- FANUC Robot M-3*i*A/6A

先端に手首捻り3軸を備えた合計6軸タイプです。
品物の向きを自由に変えることができます。整列、
組み立てなど、様々な用途に適用できます。

- FANUC Robot M-3*i*A/12H

手首が回転しない可搬質量12kgの合計3軸タイプ
です。品物の高速搬送に適しています。

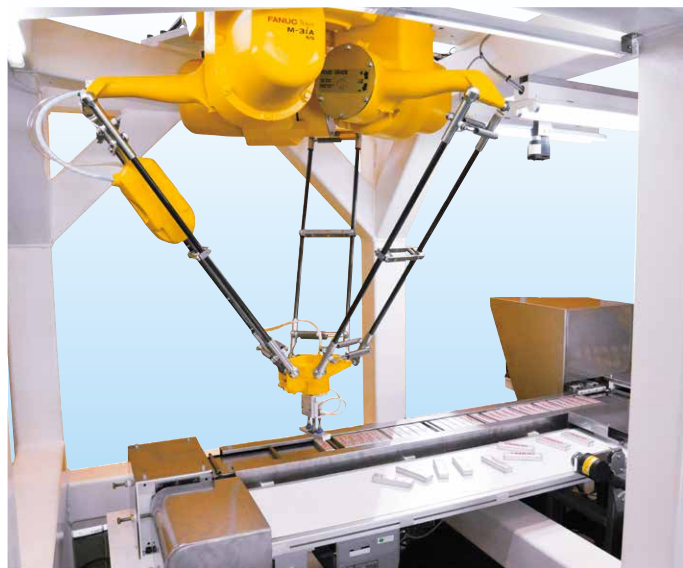
- 密閉構造により、IP67相当の耐環境性（防塵・防滴）
を実現しました。
- 食品衛生に配慮した素材、表面処理、潤滑を指定でき
ます（オプション）。食品分野での自動化に貢献します。
- i*RVision（内蔵ビジョン）や *i*RPickTool などの様々な
智能化機能をご利用いただけます。



アプリケーション例



M-3*i*A/6Aがボトルを立てて整列



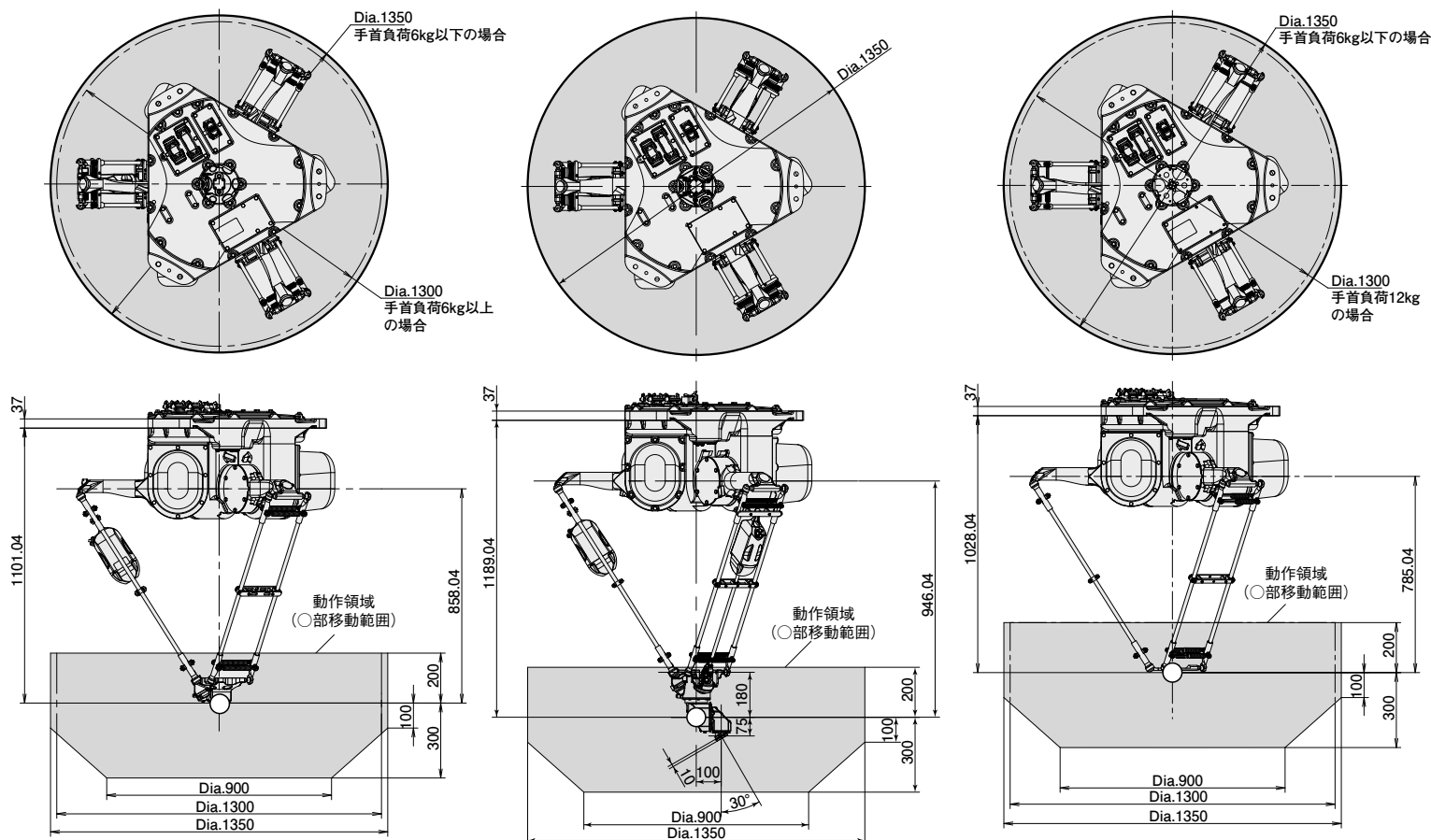
M-3*i*A/6Sによる食品の高速整列

動作領域

M-3iA/6S

M-3iA/6A

M-3iA/12H



仕様

機種	M-3iA/6S	M-3iA/6A	M-3iA/12H
動作形態	パラレルリンクメカニズム		
制御軸	4軸 (J1、J2、J3、J4)	6軸 (J1、J2、J3、J4、J5、J6)	3軸 (J1、J2、J3)
設置形式	天吊		
動作範囲 (最高速度) 注1)	J1-J3 720° (4000°/s) 12.57 rad (69.81 rad/s) J4 — J5 — J6 —	直径 1350 mm、高さ 500 mm 注4) 720° (2000°/s) 12.57 rad (34.90 rad/s) 300° (2000°/s) 5.24 rad (34.90 rad/s) 720° (2000°/s) 12.57 rad (34.90 rad/s)	— — — —
手首部可搬質量 位置繰返し精度 注2)	6 kg (オプション指定時 8 kg)	6 kg ±0.03 mm	12 kg
駆動方式	ACサーボモータによる電気サーボ駆動		
ロボット質量 注3)	160 kg	175 kg	155 kg
設置条件	周囲温度: 0 ~ 45℃ 周囲湿度: 通常 75%RH以下 (結露しないこと) 短期 95%RH以下 (1ヶ月以内) 振動値: 4.9m/s ² (0.5G)以下		

注1) 短い動作では最高速度に達しないことがあります。

注2) ISO9283に準拠しています。

注3) 制御部質量を含みません。

注4) M-3iA/6SとM-3iA/12Hについては、手首負荷が6 kgを超える場合に、動作範囲の制限があります。

ファナック株式会社

本社 〒401-0597 山梨県南都留郡忍野村忍草3580
☎ (0555)84-5555(代) FAX (0555)84-5512 <https://www.fanuc.co.jp/>

●お問合せ先 下記のロボットセールス担当にご相談ください。

本社(中央テクニカルセンタ) 〒401-0597 山梨県南都留郡忍野村忍草3580
日野支社 〒191-8509 東京都日野市旭が丘 3-5-1
名古屋支社 〒485-0077 愛知県小牧市西之島 1918-1
大阪支店 〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北 1-3-41
広島支店 〒732-0032 広島県広島市東区上温品 1-7-3
●ファナックアカデミ 〒401-0597 山梨県南都留郡忍野村忍草3580

☎ (0555)84-6262 FAX (0555)84-6256
☎ (042)589-8916 FAX (042)589-8959
☎ (0568)75-0475 FAX (0568)75-0126
☎ (06)6614-2112 FAX (06)6614-2121
☎ (082)289-7972 FAX (082)289-7971
☎ (0555)84-6030 FAX (0555)84-5540

- 本機の外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
- 本カタログからの無断転載を禁じます。
- 本カタログに記載された商品は、「外国為替および外国貿易法」に基づく規制対象です。輸出には日本政府の許可が必要な場合があります。また、商品によっては米国政府の再輸出規制を受ける場合があります。本商品の輸出に当たっては当社までお問い合わせください。